**第一章　「自分の本」をつくってみたいけれど…**

長年、教員生活を送ってきた私もいよいよ来年で退職だ…

楽しかったこと、辛かったこと。生徒と一緒に泣いたこと、大笑いしたこと。

父兄と大ゲンカしたこと、生徒たちから思いがけず感謝状をもらったこと…教員として三十八年間。 長いようで、短かったなぁ。

この 良き思い出を、自分史にまとめてみたい！

僕の夢は小説家になることだった…

学生時代から小説や随筆を書くことが大好きで、段ボール箱の中に、古い原稿がいっぱい詰まっている。この中から、一つの作品だけでも、ぜひ「本」にしてみたい！いつかは「自分の本」をつくってみたい。

誰もが、心のなかで夢みています。

でも、叶わぬ夢と諦めている人が多いようです。

本をつくるための費用は、十万円～三十万円。時には百万円の本も…。決して、安い費用とはいえません。

しかし、

「大きな費用がかかるから、本づくりを諦めている人が多い…」とも、私は思えないのです。

いつかは「自分の本」をつくってみたい！ という夢を実現する人が少ない理由として、

具体的な本のつくり方がわからない。

誰に？　 どこに？ 　相談してよいものかわからない。

お金のことよりも、いざ本をつくろうとしたときに、〝相談できる人、声をかける会社がわからない〟といったことが大きな障害となっているように思えるのです。

■印刷会社の広告を見てもサッパリわからない

書き溜めた原稿を本にしようと思い「どんな会社に本づくりをお願いするか？」を考えたとき、頭に浮かんでくるのが「印刷会社」「広告代理店」「出版社」です。

このなかで、一般の人が一番 声をかけやすいのは「印刷会社」だと思います。

では、印刷会社のタウンページ広告や、インターネット広告を見てみましょう。

ご覧になって、いかがでしたか？

本づくりを夢みているあなたが、どの印刷会社に問い合わせや、相談をしてよいのか分かりますか？

おそらく、分かりにくかったと思います。

「チラシ／パンフレット／ダイレクトメール／ポスター／パッケージ／冊子／伝票／シールなどの印刷や企画は×××印刷株式会社へ　何でも印刷いたします」